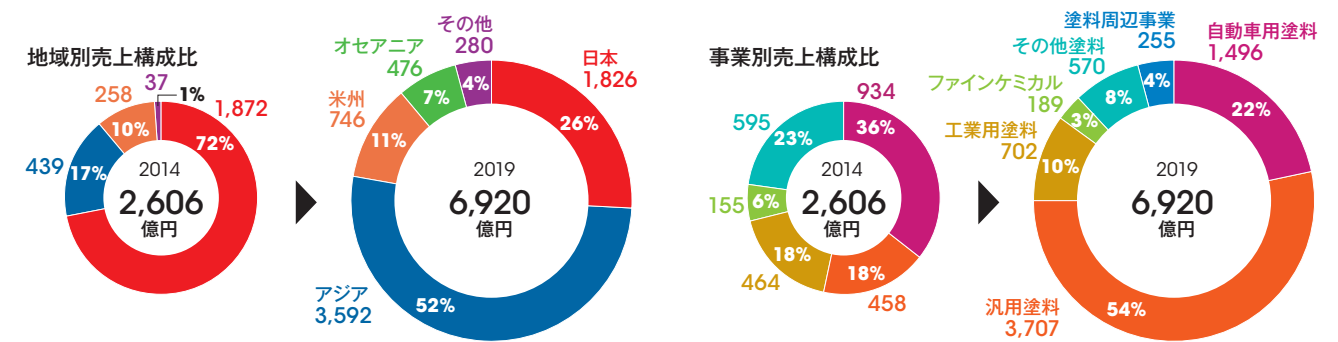


事業領域

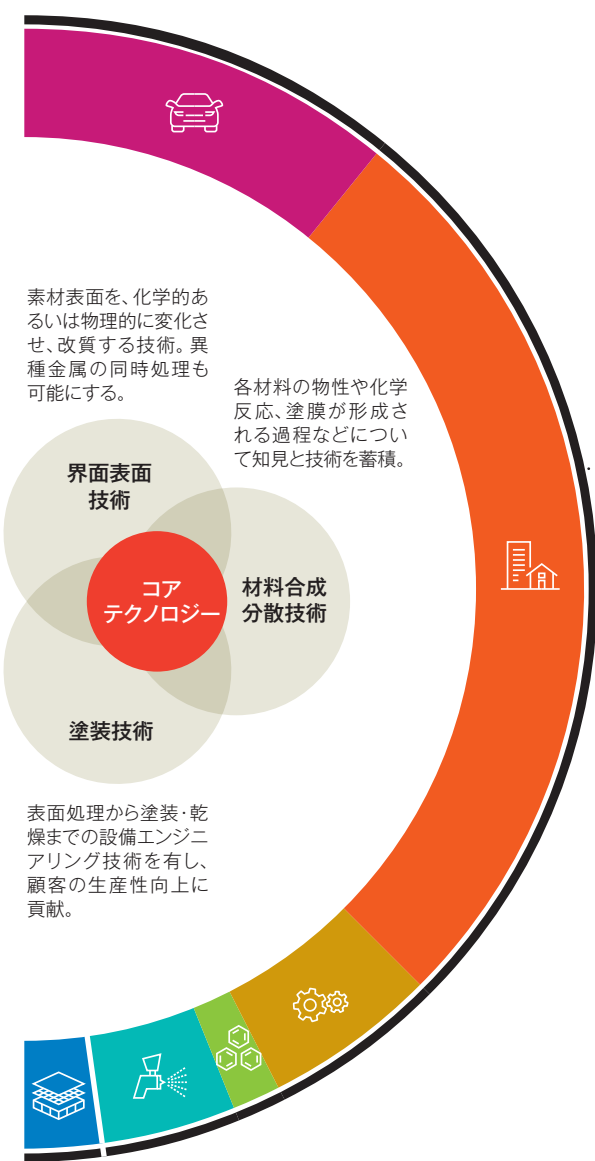
# 自動車用・汎用塗料事業を中心に幅広く塗料事業を展開しています。

当社は2014年以降、アジア合併事業の連結化や海外M&Aによるグローバル化の加速により、事業・地域ポートフォリオをダイナミックに変革。汎用塗料事業を成長のけん引役にしながら、各地域でプレゼンスを拡大しています。



売上収益(2019年度)

# 6,920 億円



素材表面を、化学的あるいは物理的に変化させ、改質する技術。異種金属の同時処理も可能にする。

各材料の物性や化学反応、塗膜が形成される過程などについて知見と技術を蓄積。

表面処理から塗装・乾燥までの設備エンジニアリング技術を有し、顧客の生産性向上に貢献。

塗料・コーティング事業	
<p><b>自動車用塗料</b></p>	<p>自動車のボディ用塗料から内装などの部品用塗料まで、高品質・高性能な製品群を取りそろえ、グローバルに事業を展開しています。</p> <p>売上収益 2018 1,602億円 2019 1,496億円</p>
<p><b>汎用塗料</b></p>	<p>住宅、ビル、橋梁、プラントなどの塗装に使用される塗料を提供。高耐候、高意匠、抗菌・抗ウイルスなどの高機能、遮熱や水性化による環境配慮型製品を展開し、最新のコーティング技術で社会に貢献しています。</p> <p>売上収益 2018 3,225億円 2019 3,707億円</p>
<p><b>工業用塗料</b></p>	<p>建設・農業機械、外装建材、オフィス家具、家電製品など、幅広い工業分野に「プレコート用塗料」「ポストコート用塗料」や「水性塗料」「粉体塗料」などの環境配慮型塗料を提供。グローバルに事業領域を広げています。</p> <p>売上収益 2018 688億円 2019 702億円</p>
<p><b>ファインケミカル</b></p>	<p>幅広い産業に向けた塗装下地や機能性コーティングなどの表面処理分野、および電子材料や自然エネルギーなど新素材に適したコーティング材料分野において先進的な製品とサービスを提供し、グローバルな社会課題の解決に貢献しています。</p> <p>売上収益 2018 194億円 2019 189億円</p>
<p><b>その他塗料</b></p>	<p>造船・海運業界の世界的な環境規制に対応する超低燃費型船底防汚塗料など先進的な塗料を開発しています。また、新車塗装で培った最先端技術を応用し、補修に適し、かつ環境負荷の低減につながる塗料を提供しています。</p> <p>売上収益 2018 568億円 2019 570億円</p>
<p><b>塗料周辺事業</b></p>	<p>気密性や防水性などの機能を発揮するシーラントや接着剤、断熱材などの建設用材料に加え、ガレージドアや住設用製品を提供しています。</p> <p>売上収益 2019 255億円</p>

※ 2014年度は日本基準、2018年度以降はIFRSベース